

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

2024年度 授業内容(シラバス)

コミック・アート学科 マンガコース 専門教育科目

科目名	教員名	授業形態	年次	ページ
構成の基礎Ⅰ	小笠原 誠	講義	1	1
キャリアデザイン	奈良 行博	講義	1	3
ストーリー演習Ⅰ	桜 水樹	演習	1	5
ストーリー演習Ⅱ	小笠原 誠	演習	1	7
デジタル演習Ⅰ	檜垣 平太	演習	1	9
デジタル演習Ⅱ	檜垣 平太	演習	1	11
キャラクター制作Ⅰ	西村 啓	演習	1	13
キャラクター制作Ⅱ	西村 啓	演習	1	15
デッサンⅠ	井土 かな子	実習	1	17
デッサンⅡ	森田 つかさ	実習	1	19
デジタルマンガⅠ	森田 つかさ	実習	1	21
イラストレーションⅠ	井土 かな子	実習	1	23
マンガ基礎実習Ⅰ	井土 かな子	実習	1	25
マンガ基礎実習Ⅱ	井土 かな子	実習	1	27
構成の基礎Ⅱ	小笠原 誠	講義	2	29
カラーテクニックⅠ	原田 昌幸	演習	2	31
カラーテクニックⅡ	畑 卓也	演習	2	33
ビジネスコミックⅠ	井土 かな子	演習	2	35
ビジネスコミックⅡ	井土 かな子	演習	2	37
マンガ制作実習Ⅰ	桜 水樹	実習	2	39
マンガ制作実習Ⅱ	桜 水樹	実習	2	41
マンガ制作実習Ⅲ	夢弥	実習	2	43
マンガ制作実習Ⅳ	夢弥	実習	2	45
デジタルマンガⅡ	竹野 嘉恵	実習	2	47
イラストレーションⅡ	井土 かな子	実習	2	49
卒業制作	桜 水樹	実習	2	51

科目名	構成の基礎 I			教員名	小笠原 誠		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1 時限	形態	講義
コース	マンガ、オープン科目			年次	1	履修コード	2327

授業目的と到達目標

ストーリー創作や構成の基本を学び、最終的には1つの物語を独自で考え、企画書としてまとめる。

授業概要

ストーリーパターンや発想方法、構想、テーマ、キャラクターなど物語に必要な要素を一通り身につける。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	ゲーム業界で企画・シナリオライターとして25年の実務経験を持つ。現場での経験を元にしたストーリー創作の基本を指導。
平常点	30%	
授業態度	40%	
課題内容	30%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	構成の基礎 I			教員名	小笠原 誠		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1 時限	形態	講義
コース	マンガ、オープン科目			年次	1	履修コード	2327

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第 1 回	ガイダンス／アンケート
第 2 回	ストーリー構成の基本 1
第 3 回	ストーリー構成の応用
第 4 回	3 ページネーム作成
第 5 回	ストーリーパターンの基礎と応用
第 6 回	キャラクター分析
第 7 回	キャラクターの作り方
第 8 回	テーマとストーリーの関係性
第 9 回	ストーリーの発想方法
第 10 回	ストーリーを考える
第 11 回	障害 (敵) の設定と解決方法について
第 12 回	伏線について
第 13 回	プロットの作り方
第 14 回	マンガ原作の企画書作成
第 15 回	総括／質疑応答

受講上の注意

遅刻をしない。私語を慎む。

特記事項

筆記用具／ノート (メモ・ネタ帳)

科目名	キャリアデザイン			教員名	奈良 行博		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	2時限	形態	講義
コース	マンガ、アニメ、フィギュア			年次	1	履修コード	3206

授業目的と到達目標

キャリアデザインとは「どこで」「何をするか」を計画・設計する講座です。まず「どこで」では、自分が活躍する場面・場所をきちんと想定して、そこに存在する物・存在しない物について正しい予備知識をもっておく必要性を学びます。「何をするか」では、自分の能力を支えてくれている人や物について知り、それらを土台として自分が今できることは何か、また更に別の助力を得て何をやってみたいかを考えます。そしてそれを文章にして他人にも分かり易くアピールする方法を学びます。

授業概要

スポーツで言えば種目が違えば、試合の土俵も装備も異なりますし、ユニホームも異なります。キャリアデザインでは、自分が出場したい「土俵」のイメージを固める作業、自分が今まで「力」を注ぎ「時間」を使ってきたことを振り返る作業から始めます。そのうえで、自分が更に学んでスキルを向上させたいこと、創造・制作したいものがどのようなものであるか、を言葉で整理して表現する練習を行います。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	教員実務経験
課題提出率	60%	
授業内アンケート	20%	
受講意欲と反応	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	キャリアデザイン			教員名	奈良 行博		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	2時限	形態	講義
コース	マンガ、アニメ、フィギュア			年次	1	履修コード	3206

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	教員と受講者の自己紹介。授業の進め方やその方法についてのガイダンス。
第2回	今の自分を支えてくれている人や物について考え、自分の任務と役割を知る。
第3回	自分が育った家庭環境、受けた学校教育、郷土の自然についてその特徴を語る。
第4回	自分の能力を使って社会に貢献できることは何かを考える。
第5回	自分が憧れる人や仕事についてその魅力を語る。
第6回	自分が社会に出たときに誰とどういう仕事をしているかチームネットを語る。
第7回	自分が学校で学んだこと、注力したこと、独自に作った作品について語る。
第8回	自分を10個の事柄で褒めるとすれば、何があるか列挙する。
第9回	自分の失敗を分析し改善案を出す、他人の苦情を傾聴し問題点をまとめる。
第10回	「就職能力シート」自分の力の特徴を知る 自分の能力発揮の場所を探る
第11回	「就職能力シート」 自己開示をしながら就職先の仕事との一致点を探る
第12回	「就職能力シート」 相手の自尊心を損なわないための配慮と準備
第13回	「就職能力シート」 自分の経歴と能力、そして貢献できる事柄を文章化
第14回	面接に大事な「あいさつ」「話の要約」「将来展望」を持って実践演習
第15回	他人の面接風景を見た感想、改善案の提示、自分のスキルアップ目標

受講上の注意

--

特記事項

--

科目名	ストーリー演習 I			教員名	桜 水樹		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5406

授業目的と到達目標

「キャラクターが創れる」「ストーリーを構成できる」「ネームが切れる」作家の育成。

授業概要

アイデア、コマ割りからストーリーの作り方まで解説。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は漫画家としての20年以上の経験と実績を生かして、商業マンガの書き方を指導する。
16ページ以上のネーム作品	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	ストーリー演習 I			教員名	桜 水樹		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5406

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	オリエンテーション 授業ガイダンス
第2回	ネームの書き方1 (基礎)
第3回	ネームの書き方2 (応用)
第4回	童話をコミカライズする1
第5回	童話をコミカライズする2
第6回	キャラクター創作1 (主人公・ヒロイン)
第7回	キャラクター創作2 (ライバル・脇役)
第8回	5W1H (誰が・どこで・何をした)
第9回	起承転結
第10回	世界観
第11回	16Pネーム1 (オープニング)
第12回	16Pネーム2 (クライマックス)
第13回	16Pネーム3 (エンディング)
第14回	16Pネーム4 (タイトルページ)
第15回	16Pネーム5 (完成)

受講上の注意

遅刻厳禁・ネーム用紙 (B4 コピー用紙など) 持参すること

特記事項

科目名	ストーリー演習II			教員名	小笠原 誠		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5407

授業目的と到達目標

オリジナリティのあるネーム制作。

授業概要

短編制作のノウハウ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ゲーム業界で企画・シナリオライターとして25年の実務経験を持つ。 読者を意識した作品制作を指導。
平常点	10%	
授業態度	10%	
課題内容	80%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	ストーリー演習II			教員名	小笠原 誠		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5407

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	キャラクター同士の出会い
第2回	ファーストシーン
第3回	キャラクター描写 (分析/演習)
第4回	世界観・キャラクター設定
第5回	マンガの企画書
第6回	ストーリーにおける価値観
第7回	企画書作成
第8回	ストーリーの発想方法
第9回	オリジナル作品制作
第10回	オリジナル作品制作
第11回	オリジナル作品制作
第12回	オリジナル作品制作
第13回	オリジナル作品制作
第14回	オリジナル作品制作
第15回	オリジナル作品制作

受講上の注意

遅刻をしない。私語を慎む。

特記事項

筆記用具/ノート (メモ・ネタ帳)

科目名	デジタル演習 I			教員名	檜垣 平太		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2122

授業目的と到達目標

PC による画像制作アプリ (Adobe Illustrator・Photoshop) の基礎の習得。

授業概要

PC (macOS) 環境の概要と、デジタル画像制作の必須ツールとなる Adobe Illustrator と Photoshop の基本オペレーションの修得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役グラフィックデザイナーが、デジタル環境での制作の基礎を指導します。
受講姿勢	50%	
技能習得	40%	
制作物とテスト	10%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

必要に応じてコピーにて代行する

知識ゼロからきちんと学べる！Illustrator しっかり入門 出) SB クリエイティブ株式会社 著) 高野雅弘

知識ゼロからきちんと学べる！Photoshop しっかり入門 出) SB クリエイティブ株式会社 著) まきのゆみ

参考 URL

科目名	デジタル演習 I			教員名	檜垣 平太		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2122

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第 1 回	ガイダンス
第 2 回	PC の基礎知識とアプリケーションの説明 1
第 3 回	画像・印刷の用語説明とアプリケーションの説明 2
第 4 回	Illustrator 基礎 1 / 設定・ショートカット
第 5 回	Illustrator 基礎 2 / オブジェクトの基本操作
第 6 回	Illustrator 基礎 3 / ペジエの基本操作 1
第 7 回	Illustrator 基礎 4 / ペジエの基本操作 2
第 8 回	Illustrator 基礎 5 / タイポグラフィ講座と書式の基本操作 1
第 9 回	Illustrator 基礎 6 / 書式の基本操作 2
第 10 回	Illustrator 基礎 7 / 書式の基本操作 3
第 11 回	Photoshop 基礎 1 / 基本操作 1
第 12 回	Photoshop 基礎 2 / 基本操作 2
第 13 回	Photoshop 基礎 3 / 基本操作 3
第 14 回	Illustrator & Photoshop 応用 1 / 応用操作
第 15 回	Illustrator & Photoshop 応用 2 / 出力と小テスト

受講上の注意

●課題の提出期限厳守。●授業内の単位を取る為の課題と受け身の姿勢ではなく、自身の成長する為の課題と
思い取り組んでください。

特記事項

科目名	デジタル演習Ⅱ			教員名	檜垣 平太		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2123

授業目的と到達目標

デジタル演習Ⅰで学んだ内容を基に、デジタル画像制作アプリ (Adobe Illustrator・Photoshop) の更なる習得を目標とする。

授業概要

マンガに付随する制作物を作成し、Adobe Illustrator と Photoshop の更なる習得を目指す。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役グラフィックデザイナーが、デジタル環境での制作の基礎を指導します。
受講姿勢	50%	
技能習得	40%	
制作物	10%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

必要に応じてコピーにて代行する

知識ゼロからきちんと学べる！Illustrator しっかり入門 出) SB クリエイティブ株式会社 著) 高野雅弘

知識ゼロからきちんと学べる！Photoshop しっかり入門 出) SB クリエイティブ株式会社 著) まきのゆみ

参考 URL

2024年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容 (シラバス)

(2/2)

科目名	デジタル演習Ⅱ			教員名	檜垣 平太		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2123

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ポートフォリオ制作1 / フォーマット制作
第2回	装丁の制作1 / タイトルロゴの制作1
第3回	装丁の制作2 / タイトルロゴの制作2
第4回	装丁の制作3 / タイトルロゴの制作3
第5回	装丁の制作4 / レイアウト1
第6回	装丁の制作5 / レイアウト2
第7回	装丁の制作6 / レイアウト3
第8回	装丁の制作7 / レイアウト4
第9回	講評会と応用制作1 / グッズ制作1
第10回	応用制作2 / グッズ制作2
第11回	応用制作3 / グッズ制作3
第12回	応用制作4 / グッズ制作4
第13回	ポートフォリオ制作2 / 実制作1
第14回	ポートフォリオ制作3 / 実制作2
第15回	ポートフォリオ制作4 / 実制作3 と総括

受講上の注意

●課題の提出期限厳守。●授業内の単位を取る為の課題と受け身の姿勢ではなく、自身の成長する為の課題と
思い取り組んでください。

特記事項

科目名	キャラクター制作 I			教員名	西村 啓		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2322

授業目的と到達目標

キャラクターの作り方の基礎を学び、オリジナルキャラクターを制作する。

授業概要

キャラクターのデザイン方法、立て方を身につける。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	週刊少年サンデーでの週刊連載の経験を活かし、商業誌も意識したネーム、構成、キャラの作り方を授業内で伝えていきます。
平常点	40%	
授業態度	20%	
課題内容	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

URL) https://app.Sunday-webry.com/share.php?title_id=418
URL) https://app.Sunday-webry.com/share.php?title_id=594

科目名	キャラクター制作 I			教員名	西村 啓		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2322

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	オリエンテーション 授業ガイダンス
第2回	キャラクター描画1
第3回	キャラクター描画2
第4回	キャラクター描画3
第5回	キャラクター描画4
第6回	キャラクター描画5
第7回	キャラクター描画6
第8回	キャラクター描画7
第9回	キャラクター描画8
第10回	想像上の生き物デザイン1
第11回	想像上の生き物デザイン2
第12回	想像上の生き物デザイン3
第13回	恋路を邪魔するキャラクター1
第14回	恋路を邪魔するキャラクター2
第15回	恋路を邪魔するキャラクター3

受講上の注意

課題を期限までに提出する。

特記事項

科目名	キャラクター制作Ⅱ			教員名	西村 啓		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2339

授業目的と到達目標

キャラクターの動かし方を学び、オリジナルの物語作品を制作する。

授業概要

キャラクターを動かす為に必要なアイデアや設定などを知り、物語制作の基礎を固める。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	週刊少年サンデーでの週刊連載の経験を活かし、商業誌も意識したネーム、構成、キャラの作り方を授業内で伝えていきます。
平常点	40%	
授業態度	20%	
課題内容	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

URL) https://app.Sunday-webry.com/share.php?title_id=418
URL) https://app.Sunday-webry.com/share.php?title_id=594

科目名	キャラクター制作Ⅱ			教員名	西村 啓		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	2339

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	キャラクターが動く目的1
第2回	キャラクターが動く目的2
第3回	キャラクターが動く目的3
第4回	キャラクターが動く目的4
第5回	バトルマンガの描き方1
第6回	バトルマンガの描き方2
第7回	バトルマンガの描き方3
第8回	バトルマンガの描き方4
第9回	オリジナル作品制作1
第10回	オリジナル作品制作2
第11回	オリジナル作品制作3
第12回	オリジナル作品制作4
第13回	オリジナル作品制作5
第14回	オリジナル作品制作6
第15回	オリジナル作品制作7

受講上の注意

課題を期限までに提出する。

特記事項

科目名	デッサン I			教員名	井土 かな子		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	3121

授業目的と到達目標

○人物デッサンと遠近法の習得 ○人物は男女の描き分けとの 360 度全方向の描画をマスター ○遠近法は後期から始まる漫画制作に向け、基礎知識を身につけておく

授業概要

人物は漫画家に必要なデフォルメに特化し、男女の骨格・筋肉を個人の画風に合わせて習得。また、クロッキーは毎回行い実践での下描きのスピードを上げていく。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のマンガ家(イラストレーター)として人物デッサンの基礎と躍動するキャラの描き方を指導します。
課題	30%	
実技試験	45%	
平常点	25%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	デッサン I			教員名	井土 かな子		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	3121

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第 1 回	透視図法 1
第 2 回	透視図法 2
第 3 回	透視図法 3
第 4 回	透視図法 4
第 5 回	透視図法 5
第 6 回	小道具 1
第 7 回	小道具 2
第 8 回	小道具 3
第 9 回	アクション 1
第 10 回	アクション 2
第 11 回	アクション 3
第 12 回	二人アクション 1
第 13 回	二人アクション 2
第 14 回	二人アクション 3
第 15 回	テスト

受講上の注意

クロッキー帳、長尺・短尺定規は常に持参。遅刻厳禁。締め切り厳守

特記事項

科目名	デッサンⅡ			教員名	森田 つかさ		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5118

授業目的と到達目標

漫画を書く上で必要な基礎的な人体の描写力を身につける。

授業概要

人物を的確に捉えるためのクロッキー及び背景描写に必要な透視図法の授業を行う。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	商業イラストレーター、ビジネスマンガ制作の経験を元に描画技術を指導。
課題提出	40%	
実技試験	35%	
平常点	25%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	デッサンII			教員名	森田 つかさ		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5118

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	頭身
第2回	胴・脚
第3回	腕・手
第4回	足・靴
第5回	顔・髪
第6回	生地 of 素材
第7回	服装①スーツ
第8回	服装②スカート
第9回	年齢別①
第10回	年齢別②
第11回	植物
第12回	動物
第13回	クロッキー①
第14回	クロッキー②
第15回	テスト

受講上の注意

クロッキー帳は常に持参。遅刻厳禁。締め切り厳守。

特記事項

科目名	デジタルマンガ I			教員名	森田 つかさ		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	4304

授業目的と到達目標

デジタルでの制作基礎技術を学習する。オリジナル漫画・デジタル素材制作に生かせるよう、自分に合った作品制作方法を身につける。

授業概要

CLIP STUDIO PAINT EX を使用したデジタルマンガ制作の技法を学び、デジタルとアナログ作業の双方から、自分に合った制作方法を見つける。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	商業イラストレーター、ビジネスマンガ制作の経験を元にデジタル・アナログでの描画技術を指導。
授業態度	30%	
小課題	30%	
最終課題	40%	
	%	
	%	

教科書

CLIP STUDIO PAINT EX 公式ガイドブック 改訂3版

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	デジタルマンガ I			教員名	森田 つかさ		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	4304

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	データ作成、ツール基本操作
第2回	カスタマイズ
第3回	アナログ原稿のスキャンと印刷
第4回	マスク、ベタ、ツヤベタ、トーン
第5回	描き文字、フキダシとセリフ
第6回	枠線、効果線
第7回	背景基礎①
第8回	背景基礎②
第9回	出張編集部用原稿制作と基礎総合復習①
第10回	出張編集部用原稿制作と基礎総合復習②
第11回	出張編集部用原稿制作と基礎総合復習③
第12回	出張編集部用原稿制作と基礎総合復習④
第13回	出張編集部用原稿制作と基礎総合復習⑤
第14回	出張編集部用原稿制作と基礎総合復習⑥
第15回	基礎総合復習と課題提出

受講上の注意

USB メモリスティック、筆記具、メモ帳を毎回必ず持ってくること。遅刻厳禁、締め切り厳守。

特記事項

科目名	イラストレーション I			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5119

授業目的と到達目標

漫画家は時としてアナログでの作業も必須で、紙選び・主線の描き方から仕上げの手法を学んでおく必要がある。その時のために一通り画材を使ってみて自分のオリジナルを見つける。

授業概要

カラー原稿を作成するにあたり、準備物や注意点、あると便利な画材までをレクチャー。卒業制作展用のポスター作りにも活かせるよう、前期中にオリジナリティーを発見する。画材の特徴と使用方法…■ 二色原稿：透明水彩を紙の選び方から学ぶ。使用する色は朱色と黒の二色のみだが、平面的な配色にならないように中間色を上手く使い分ける。■ 四色原稿：コピックの使い方を順に学ぶ。アナログ原稿で懸念されがちなのはみ出しや失敗を避ける方法から、時短テクニック等を学ぶ。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	現役のイラストレーターとして、これまで培ったアナログの技術をレクチャーします。
課題提出	50%	
平常点	50%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	イラストレーション I			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	5119

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	カラーイラストの基礎【水張りの仕方】
第2回	二色原稿 1【透明水彩の使い方】
第3回	二色原稿 2【ラフ画】
第4回	二色原稿 3
第5回	二色原稿 4 B4原稿 提出
第6回	二色原稿 5
第7回	二色原稿 6 提出
第8回	コピック 1【キャラクターの塗り方】
第9回	コピック 2
第10回	コピック 3
第11回	コピック 4
第12回	コピック 5
第13回	コピック 6
第14回	コピック 7
第15回	課題提出、搬入・搬出の説明

受講上の注意

道具の準備の徹底。遅刻厳禁。締め切り厳守。

特記事項

≪ 必 要 画 材 ≫
 A 透明水彩 2 色 (バーミリオン・ヒュー/アイボリー・ブラック) 筆・筆洗・パレット・ラフ画を描くスケッチブック等 必要に応じて指定の水彩紙・画用紙を購入 B3 を 2 枚程度 ミリペン等キャラにペン入れができるもの ※上記のものは各自準備、A の道具は授業初日から持ってくる。新品である必要はない。

科目名	マンガ基礎実習 I			教員名	井土 かな子		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	1320

授業目的と到達目標

○モノクロ漫画原稿の画面作りの習得 ○漫画技術の基礎をマスター ○ショート漫画の作成を経て、作品を描き上げる力を身につける。

授業概要

アナログ画材に触れ、作画において必要な基礎力を身につける。現在の漫画業界のトレンドを抑えながら、個人に合った作風の画面作りを模索。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	商業マンガの受賞歴・連載歴の経験を活かし、初心者にもわかりやすく基礎から上達のコツまでをレクチャーします。
課題	40%	
技術	20%	
平常点	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	マンガ基礎実習 I			教員名	井土 かな子		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	1320

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス (マンガ基礎用語・道具の説明・自己紹介)
第2回	原稿用紙の使い方 (枠線を引く)
第3回	つけペンの使い方 (カケアミ) 小課題: カケアミ
第4回	ベタと描き文字
第5回	効果線 (流線・スピード線・集中線) 小課題: 効果線
第6回	特殊効果 (スプラッシュ・パッチェイニング・点描)
第7回	スクリーントーン
第8回	2P マンガ基礎原稿1
第9回	2P マンガ基礎原稿2
第10回	タイトルページ1 (ラフ面からのチェック)
第11回	タイトルページ2
第12回	見開きページ1
第13回	見開きページ2
第14回	見開きページ3
第15回	提出 (前期終了) 課題: 2P 漫画/タイトルページ/見開き

受講上の注意

授業に合わせた画材を持参。遅刻厳禁。必要以上の私語厳禁。ㄨ切厳守。

特記事項

ネームは「原作演習 I」や「キャラクター制作 I」を使用

科目名	マンガ基礎実習Ⅱ			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	1319

授業目的と到達目標

モノクロ漫画原稿の画面作りの習得。漫画技術の応用をマスター。ストーリー漫画の作成を経て、作品を描き上げる力を身につける。完成作品は編集部に見てもらう。

授業概要

アナログ画材に触れ、作画において必要な基礎力を身につける。現在の漫画業界のトレンドを抑えながら、個人に合った作風の画面作りを習得。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	商業マンガの受賞歴・連載歴の経験を活かし、初心者にもわかりやすく基礎から上達のコツまでをレクチャーします。
課題	40%	
技術	40%	
平常点	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	マンガ基礎実習Ⅱ			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	1	履修コード	1319

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	透視図法1 (2点透視)
第2回	透視図法2
第3回	オリジナルストーリー制作1 (16ページ以上)
第4回	オリジナルストーリー制作2
第5回	オリジナルストーリー制作3
第6回	オリジナルストーリー制作4
第7回	オリジナルストーリー制作5
第8回	オリジナルストーリー制作6
第9回	オリジナルストーリー制作7
第10回	オリジナルストーリー制作8
第11回	オリジナルストーリー制作9
第12回	オリジナルストーリー制作10
第13回	オリジナルストーリー制作11
第14回	出張編集部
第15回	出張編集部

受講上の注意

授業に合わせた画材を持参。遅刻厳禁。必要以上の私語厳禁。ㄨ切厳守。

特記事項

オリジナルストーリー制作はアナログかデジタルのどちらか得意な方で制作可能。

科目名	構成の基礎Ⅱ			教員名	小笠原 誠		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1時限	形態	講義
コース	マンガ			年次	2	履修コード	6209

授業目的と到達目標

ストーリー創作の基本から応用を学び、研究することで様々なジャンルの作品を描く力を身につける。

授業概要

ストーリー創作の技法や構成を身につけ、オリジナル作品の完成度を高める。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	ゲーム業界で企画・シナリオライターとして25年の実務経験を持つ。現場で身につけた物語の創作技法を指導。
平常点	30%	
授業態度	40%	
課題内容	30%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	構成の基礎Ⅱ			教員名	小笠原 誠		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1時限	形態	講義
コース	マンガ			年次	2	履修コード	6209

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス／アンケート
第2回	ストーリー構成の応用
第3回	演繹法と帰納法
第4回	ストーリーパターンの応用
第5回	イントロについて
第6回	展開部について
第7回	クライマックスについて
第8回	エピローグについて
第9回	恋愛マンガの構成
第10回	異世界ファンタジー／転生マンガの構成
第11回	専門職種を題材としたマンガの構成
第12回	歴史マンガの構成
第13回	ホラー・パニックマンガの構成
第14回	学園マンガの構成
第15回	総括／質疑応答

受講上の注意

遅刻をしない。私語を慎む。

特記事項

筆記用具／ノート（メモ・ネタ帳）

科目名	カラーテクニック I			教員名	原田 昌幸		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	2406

授業目的と到達目標

色彩についての理論を理解し、その実践を通して色彩士検定試験 3級合格を目指す。色彩の基礎を学びながら、身の回りで見られる配色の意図を理解し、自身の作品制作においての色彩計画に生かせるように学んでいく。

授業概要

教科書をもとに、P.C.C.S 表色系を中心にしながら、色彩の面白さと重要性を学ぶ。毎回その日の内容の小テストを行う。また彩色実習や配色カードを用いた実習など、実際に色を用いながら、理解を深めていく。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	現代美術作家「原田要」として作品発表を重ねてきた中で積み重ねた色彩についての知見を基に、色彩の基礎について指導していきます。
小テスト、課題提出	60%	
模擬試験	30%	
平常点	10%	
	%	
	%	

教科書

Color Master basic 出) NPO 法人アデック出版局

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	カラーテクニック I			教員名	原田 昌幸		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	2406

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス、色のなりたちー色とは何か、色と光の関係
第2回	混色についてー加法混色、現法混色
第3回	色相環を作るー12色相環を彩色して制作する
第4回	色の表示方法ーPCCS表示法とマンセルシステム
第5回	PCCS表示法の演習ー配色カードによる
第6回	色の知覚効果ー対比と同化
第7回	色の心理効果ー寒暖感、軽重感、色のイメージ
第8回	色の心理効果ー色の連想、象徴性
第9回	色彩調和ー色相、トーンによる類似と対比
第10回	色彩調和ーナチュラル・ハーモニーとコンプレックス・ハーモニー
第11回	色彩調和ーダイアード、トライアード
第12回	色彩士検定3級模擬試験1回目
第13回	色彩士検定3級模擬試験2回目
第14回	チラシを読み解くーこれまで学んだ内容をもとに、チラシのデザインを解析する
第15回	チラシを読み解くー自作を基に

受講上の注意

教科書をもとに進みますので、各自購入しておいてください。日本色研 配色カード 158a も使用しますので、合わせて購入しておくこと。

特記事項

科目名	カラーテクニックⅡ			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	6123

授業目的と到達目標

◎「カラーテクニックⅠ」で学んだ色彩の知識を活かした作品制作。◎版画の基礎知識とスクリーンプリントの原理を理解し、アイデアから完成までのプロセスを学ぶとともに、色彩を活かした表現の試み。デザイン・イラスト表現における活用を考える。

授業概要

・スクリーンプリントを使った作品制作を通し、イメージを伝える配色や色の効果、表現方法を考える・色をテーマにした手作り製本

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、基礎となるデッサン・ドローイング等の技術習得やスクリーンプリント表現研究等の指導を行う。」
取り組みと作課題に対する評価	80%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	カラーテクニックⅡ			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	6123

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス：カリキュラム説明 版画の種類とスクリーンプリント原理の説明 「スクリーンプリント：ポストカード」 2～4色刷りポストカード制作 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第2回	「スクリーンプリント：ポストカード」 製版原稿制作、製版
第3回	「スクリーンプリント：ポストカード」 印刷
第4回	「スクリーンプリント：ポストカード」 印刷、完成
第5回	「スクリーンプリント：」 赤青黄三原色を使った簡易フルカラー印刷 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第6回	「スクリーンプリント」 分版、網掛け、製版原稿制作、製版
第7回	「スクリーンプリント」 印刷
第8回	「スクリーンプリント」 印刷、完成
第9回	「スクリーンプリント：T シャツ」 スクリーンプリントを活かしたデザインと配色 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第10回	「スクリーンプリント：T シャツ」 製版原稿制作、製版
第11回	「スクリーンプリント：T シャツ」 印刷、完成
第12回	「製本」 本の各部分名称と基本の構成、説明 色をテーマにミニ本・豆本制作。 絵本・ビジュアル本など アイデアスケッチ・ラフ制作
第13回	「製本」 本文制作
第14回	「製本」 本文制作
第15回	「製本」 製本、完成

受講上の注意

スクリーンプリント・製本ともに手作業で進めていきます。汚れる事もあるので服装に注意！

特記事項

科目名	ビジネスコミック I			教員名	井土 かな子		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	2-3 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	3128

授業目的と到達目標

ビジネスコミック(取扱説明マンガ) をクライアントの依頼から入稿、金銭のやり取り等、仕事を実践方式で作成。

授業概要

ビジネスコミックとはニーズに合わせた読者が読みやすく、わかりやすく説明されているマンガである必要がある。キャラクターデザインとネーム、着彩の色合い等をチェックを重ねて仕上げていく工程を、模擬依頼で習得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のビジネスコミックイラストレーターとして レクチャーします。
課題	50%	
平常点	50%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	ビジネスコミック I			教員名	井土 かな子		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	2-3 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	3128

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	取説マンガ制作 1 (メールアドレスの取得・メールの書き方)
第3回	取説マンガ制作 2 (見積もり・支払いについて)
第4回	取説マンガ制作 3 (キャラクターデザイン)
第5回	取説マンガ制作 4 (ネーム)
第6回	取説マンガ制作 5
第7回	取説マンガ制作 6
第8回	取説マンガ制作 7
第9回	取説マンガ制作 8
第10回	取説マンガ制作 9
第11回	取説マンガ制作 10 (着彩について)
第12回	取説マンガ制作 11
第13回	取説マンガ制作 12
第14回	取説マンガ制作 13(校正)
第15回	取説マンガ制作 14(提出)

受講上の注意

遅刻厳禁。締め切り厳守。常にバックアップをとること。

特記事項

科目名	ビジネスコミックⅡ			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	5308

授業目的と到達目標

マンガコースの卒業制作作品集である Be sen's を自分たちで見積もりから編集・入稿までを行い、自費出版ができるまでの工程を習得。

授業概要

マンガ家 (イラストレーター) として、意欲的に作品を出品や出版したりと活動範囲を広げるプロセスを習得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のビジネスコミックイラストレーターとして レクチャーします。
課題	50%	
平常点	50%	
	%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	ビジネスコミックⅡ			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	5308

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	取説マンガ制作 1
第2回	取説マンガ制作 2
第3回	取説マンガ制作 3
第4回	取説マンガ制作 4
第5回	取説マンガ制作 5
第6回	取説マンガ制作 6
第7回	イラストカット制作 1
第8回	イラストカット制作 2
第9回	編集作業 1
第10回	編集作業 2
第11回	入稿作業
第12回	ポップ作成
第13回	ポップ作成 2
第14回	ポップ作成 3
第15回	搬入作業

受講上の注意

遅刻厳禁。締め切り厳守。作品データは常にバックアップをとる。

特記事項

科目名	マンガ制作実習 I			教員名	桜 水樹		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	5316

授業目的と到達目標

漫画の基礎技術の確認と応用力を身につける

授業概要

制作実習の各段階で、個々の画力に応じたアドバイスと、その個性を引き出す

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は漫画家としての20年以上の経験と実績を生かして、商業マンガの書き方を指導する。
授業態度	40%	
課題	60%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じてプリントを配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	マンガ制作実習 I			教員名	桜 水樹		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	5316

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	■オリエンテーション (注意事項及び課題提出について)
第2回	■メカ描写 車1 外観
第3回	■メカ描写 車2 内観
第4回	■メカ描写 車3 仕上げ
第5回	■メカ描写 車4 車のある風景
第6回	■パース 3点透視図法1
第7回	■パース 3点透視図法2
第8回	■カメラによる画角の基礎
第9回	■ネーム復習
第10回	■建築描写1 住宅外観
第11回	■建築描写2 住宅内観
第12回	■キャラ設定から部屋を構成する
第13回	■卒業制作ネーム作成
第14回	■前期課題進行チェック
第15回	■課題提出日

受講上の注意

講義中は私語は慎むこと。遅刻厳禁。

特記事項

漫画の基礎技術の復習と応用各学生の個性に合わせたアドバイスと指導1年生で学んだ基礎実習を元に画力の向上を目指す

科目名	マンガ制作実習Ⅱ			教員名	桜 水樹		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	5317

授業目的と到達目標

制作実習Ⅰに基づいて、より画力の向上を目指す

授業概要

各個人の個性と、各々の作品の方向性を認識させる様々なモチーフを描画する

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は漫画家としての20年以上の経験と実績を生かして、商業マンガの書き方を指導する。
課題及び出席による総合評価	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じてプリントを配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	マンガ制作実習Ⅱ			教員名	桜 水樹		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	5317

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	■原作付き漫画について
第2回	■建築描写3 学校外観
第3回	■建築描写4 学校内観
第4回	■机と椅子 人物の描写1
第5回	■机と椅子 人物の描写2
第6回	■日常の仕草をテーマに原稿作成
第7回	■建築描写5 会社外観
第8回	■建築描写6 会社内観
第9回	■建築描写7 会社をテーマに原稿作成
第10回	■世界観について
第11回	■アシスタントについて
第12回	■アシスタント応募用原稿作成1
第13回	■アシスタント応募用原稿作成2
第14回	■三題話
第15回	■課題提出日

受講上の注意

講義中は私語は慎むこと。遅刻厳禁

特記事項

制作実習Ⅰに基づいて、より完成度の高い作品を仕上げる事へ向けて、実作品の指導を行う制作実習Ⅰに基づいて、より応用力のある表現を習得する

科目名	マンガ制作実習Ⅲ			教員名	夢弥		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	1317

授業目的と到達目標

基礎・応用から学んだことを基に、より実践的なクオリティーの強化と投稿・持ち込み用の作品制作。

授業概要

投稿・持ち込みをくり返すことにより、実践的な実力の向上。また、制作進行状況に合わせた個人指導で『苦手』を『得意』に変える。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	漫画家としての連載経験、複数のアシスタント経験を活かし、技術の向上や漫画に対する姿勢を指導します。
課題	40%	
実技試験	35%	
平常点・出席状況	25%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	マンガ制作実習Ⅲ			教員名	夢弥		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	1317

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	背景描写1【街路樹・応用テクニック】ミリペンと筆ペンの使い分け
第3回	スクリーントーン1【ぼかし削り・基礎知識の復習】ぼかし削りの習得
第4回	スクリーントーン2 実習
第5回	食べ物1【料理と食事シーン】ぼかし削りを活かしたクオリティー
第6回	食べ物2 実習
第7回	背景描写2【背景トレース】定規の使い方・ベタの処理
第8回	背景描写3 実習
第9回	背景描写4【トーン処理】昼・夜の表現
第10回	背景描写5 実習【写真を見て描写】
第11回	背景描写6 実習
第12回	背景描写7 実習
第13回	爆発・炎上・水1
第14回	爆発・炎上・水2 実習
第15回	爆発・炎上・水3 実習

受講上の注意

必要画材、道具の準備の徹底遅刻厳禁締め切り厳守

特記事項

科目名	マンガ制作実習Ⅳ			教員名	夢弥		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	1318

授業目的と到達目標

プロデビューを目的とする、投稿・持ち込み・受賞用作品制作。

授業概要

スピード、クオリティー、スケジュール管理の徹底を行い年間作品制作数の目標を立てる。また、制作現場としてのプロ意識の向上。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	漫画家としての連載経験、複数のアシスタント経験を活かし、技術の向上や漫画に対する姿勢を指導します。
課題	40%	
実技試験	35%	
平常点・出席状況	25%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	マンガ制作実習Ⅳ			教員名	夢弥		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	1318

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	アクション1【スポーツ・格闘】効果線・描き文字・人物の躍動
第2回	アクション2 実習
第3回	花・岩1
第4回	花・岩2 実習
第5回	作品制作1【ストーリー漫画制作】
第6回	作品制作2
第7回	作品制作3
第8回	作品制作4
第9回	作品制作5
第10回	和風建築・洋風建築1
第11回	和風建築・洋風建築2 実習
第12回	和風建築・洋風建築3 実習
第13回	実技試験
第14回	筆記試験
第15回	返却

受講上の注意

必要な画材、道具の準備の徹底遅刻厳禁締め切り厳守

特記事項

科目名	デジタルマンガⅡ			教員名	竹野 嘉恵		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	4306

授業目的と到達目標

1年生で習得した基礎技術に加え、それを応用出来る能力を身に着ける。さらにデジタルならではの技法を使い、能力以上の完成度で原稿を仕上げる技術を身につける。

授業概要

引き続き CLIP STUDIO PAINT EX を使用しデジタル技術を学ぶ。フルデジタル作業とアナログ作業+デジタル作業、両方を学び、自身に合う方法を見つけていく。また、オリジナル素材を作成し、様々な角度から漫画に関わる仕事や技術を学んでいく。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	商業誌掲載漫画家としての実務経験を活かし、現在必要不可欠なデジタル技術と漫画表現を指導します。
授業態度	30%	
小課題	30%	
最終課題	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	デジタルマンガII			教員名	竹野 嘉恵		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	4306

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・Iの総復習
第2回	パース定規①
第3回	パース定規②
第4回	ベクターレイヤー応用
第5回	デジタル素材作り①
第6回	2D基礎・2DLT
第7回	デジタル素材作り②
第8回	3D基礎・3DLT
第9回	見開き原稿・制作と打ち合わせ
第10回	見開き・トビラ絵①
第11回	見開き・トビラ絵②
第12回	見開き・トビラ絵③
第13回	見開きのチェック・トンボ付け・納品の練習
第14回	展示・冊子作り
第15回	撤去・ディスカッション

受講上の注意

メモ、筆記用具、USBを毎回忘れずに持って来て下さい。遅刻厳禁、不切厳守。

特記事項

科目名	イラストレーションⅡ			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	2335

授業目的と到達目標

マンガコースの卒業制作作品集である Be sen's の表紙を制作。提出された中から今年度の顔となる作品2作を選出。次に卒展用のポスター制作から額装までの作業を行う。

授業概要

CLIPSTUDIO を使用して、キャラクターのデジタル着彩の基礎から絵柄に合わせた塗り方をレクチャー。イラストレーションに必要な工程を習得。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	商業誌・業界誌のカラーイラストの出版経験を基に指導します。
課題	50%	
平常点	50%	
	%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	イラストレーションII			教員名	井土 かな子		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	2335

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	Be sen's 表紙制作実習1 (概要説明)
第2回	ラフ画チェック
第3回	デジタル着彩の応用1 (イメージ背景・テクスチャ)
第4回	デジタル着彩の応用2 (エフェクト)
第5回	Be sen's 表紙制作実習2
第6回	Be sen's 表紙制作実習3
第7回	Be sen's 表紙制作実習4
第8回	Be sen's 表紙制作実習5
第9回	Be sen's 表紙制作実習6
第10回	Be sen's 表紙制作実習7
第11回	ポスター制作自習1 (卒業制作展展示用ポスター制作概要説明)
第12回	ポスター制作自習2
第13回	ポスター仮提出
第14回	ポスター本締め切り
第15回	ポスター額装

受講上の注意

遅刻厳禁。締め切り厳守。常にデータのバックアップを取ること。

特記事項

科目名	卒業制作			教員名	桜 水樹		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	3119

授業目的と到達目標

2年間の授業の集大成として、個性的で完成度の高い作品を制作する。

授業概要

制作段階で個々に対するアドバイス・サポートを行い、作品の完成度を高める。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は漫画家としての20年以上の経験と実績を生かして、商業マンガの書き方を指導する。
作品の完成度	30%	
平常点・出席状況	50%	
展示	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	卒業制作			教員名	桜 水樹		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	実習
コース	マンガ			年次	2	履修コード	3119

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	オリエンテーション
第2回	テーマの選択
第3回	アイディアの具体化 プロット作成
第4回	ネーム作成1
第5回	ネーム作成2
第6回	下書き1
第7回	下書き2
第8回	下書き3
第9回	ペン入れ1
第10回	ペン入れ2
第11回	ペン入れ3
第12回	仕上げ1
第13回	仕上げ2
第14回	最終審査
第15回	展示パネル作成

受講上の注意

遅刻厳禁。締め切り厳守。

特記事項